



## 第6回授業改革実践研修会(会場:高知市立旭東小学校)

平成25年1月21日(月)実施

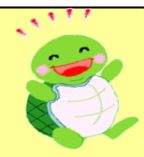
### 1 公開授業・事後研究会

授業者：高知市立旭東小学校 濱田 美沙 教諭

- 単元名 “What would you like?”オリジナルのスペシャル給食をつくろう (“Hi, friends!1” lesson9)
- 本時の目標 “What would you like?” “I would like ~.”を使って、欲しいものを尋ねたり答えたりする。
- 評価規準 “What would you like?” “I would like ~.”を使って、欲しいものを尋ねたり答えたりしている。
- 展開



| 児童の活動   | 活動のポイント  |
|---|--|
| 1 挨拶をする。<br>2 前時の振り返りを聞く。<br>3 チャンツをする。<br>4 本時の課題を知る。<br>(1) 色分けゲームをする。<br>(2) 提示された料理が赤・黄・緑のどこのグループに入るか班で考える。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 担任は「英語の話し手」としてのモデルではなく、「英語の学習者」としてのモデルになる。<br/>                         → ・ 担任の頑張って英語を使っている姿が子どもを「自分も使ってみよう」という気持ちにさせる。<br/>                         (チャンツを頑張った先生に子どもから拍手が！)</li> </ul>                                     |
| タニタ食堂でスペシャル給食を注文しよう！<br><br>5 スペシャル給食を考えてペアで注文し合う。<br>(1) 各自スペシャル給食を考える。<br>(2) ペアで欲しいものを注文し合う。                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 他教科(家庭科)との関連を図り、“Hi, friends!1”の内容を子どもの実態に合わせてアレンジする。<br/>                         → ・ 他教科同様、外国語活動をさまざまな活動と関連させる。<br/>                         ・ 子どもの中では、学習内容はつながっているという認識をもつ。</li> </ul>                                   |
| 6 今日の学習を振り返り、終わりの挨拶をする。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動を通して“What would you like?” “I’d like~.”の言い方に慣れ親しませる。<br/>                         → ・ 日頃から、互いの意見をしっかりと聞き合える子ども同士の関係を築く。<br/>                         ・ 繰り返し言わせるだけでなく、子ども同士がかかわり合いながら、「言いたい、聞きたい」と思うような活動を設定する。</li> </ul> |



### 2 講話「外国語活動の授業の在り方」

広島県神石高原町立三和小学校 平岡 昌子 教頭

#### ～ “Hi, friends!”を活用した授業づくりのポイント～

##### ポイント① 単元計画を立てる際、3つの柱を意識した活動を仕組む

- ◇ コミュニケーションへの関心・意欲・態度  
 → 発表や紹介し合う活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- ◇ 外国語への慣れ親しみ  
 → 友だちと楽しく関わり合いながらできる活動を通して、外国語をたっぷり聞かせる、言わせる。
- ◇ 言語や文化に関する気付き  
 → 写真や絵、スキット(寸劇)を見せ、話し合わせるなどの活動を通して、児童に言語や文化の共通点や違いについて気付かせる。

3つの柱とそれを意識した活動



##### ポイント② 表現等に出合う場面設定の工夫

- ◇ スキット(寸劇)を見せ、使用表現を想像させる
- ◇ 具体物の活用 など

##### ポイント③ 児童、学級の実態に合わせてアレンジし、オリジナルの内容にする

- ◇ 活動の場面設定をする際、必然性をもたせる
- ◇ 活動に目的意識、相手意識をもたせる(相手は児童とかかわりの深い相手、児童自身に選ばせる)

ぶれない授業にするために  
 ・ 目標に立ち返りましょう。  
 ・ 児童につけたい力は何かを確認しましょう。

#### 〈受講者の感想〉

・ 学級担任が行うことに意味がある、小学校外国語活動の実際を見ることができた。担任の先生らしく、活動に意味をもたせたオリジナリティのある授業だった。そのような担任の姿が、英語を使おうとしているよいモデルとして、子どもの励みになると思った。

・ 外国語活動の授業づくりのポイントを教えていただき、目標の3つの柱を再確認できてよかった。英語が苦手であっても、教材に出合わせる工夫や担任の熱意で楽しい活動ができるというお話も参考になった。

# 平成24年度 高知市教育研究所研究員終了式【研究発表会】

今年度、27名の高知市教育研究所研究員の終了式が、2月8日（金）にアスパルこうちにて行われ、今年1年間の研究成果が発表されました。



あったかアンケートの  
手引き作成（小学校）



あったかアンケートの  
効果測定（中学校）



特別支援教育における  
生活単元学習の指導案  
集の作成



小学校外国語活動から  
中学校英語科への接続  
カリキュラムの作成



学校事務・新体制での  
取り組み

## グループ研究発表

今年度は、グループ研  
究も活発に行われ、5  
つのグループ発表があ  
りました。

### 【研究員のひとこと感想から】

- グループでの研究でしたので、他の学校の取り組みの様子も聞きながら、楽しく研究を推進することができました。
- 小学校と中学校の学びのつながりを考えるとき、小中の教員が一緒になって一つの目標に進む大切さを実感しました。小学校だけで考えていると見えなかったことが、中学校の先生から多くの示唆をいただき、新たな視点をいただきました。



### ＜全体授業の実践発表＞

- 1 宇田京子教諭（小高坂小）は、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた国語科授業づくりについて
- 2 上平田健一教諭（神田小）は、デジタル機器を活用した授業づくりと支援について



### 【研究員のひとこと感想から】

- 全体授業研では自分と違うグループの先生方の授業を見せていただき、勉強にもなり、刺激も大いに受けることができました。研究員をやって本当に勉強になりました。新たな課題も見えたので、これからも続けて研究していきます。

## 会場いっぱいの参会者



研究員の所属校の校長先生方もたくさん発表を聞きに来てくださいました。



研究員の研究成果は、CD-Rで、各学校に配付させていただきます。ぜひ、ご活用ください。

来年度の研究員を募集しています。詳しくは、各所属校の学校長または高知市教育研究所教職員研修班までお問い合わせください。



ご意見・ご感想等を高知市教育研究所教職員研修班までお寄せください。